

免疫学セミナー

日時: 2月6日(火曜日) 18:00~19:30

場所: 基礎研究棟1F 大学院セミナー室

講演者: 池田 裕明 博士

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 腫瘍医学分野 教授

タイトル: 『がんの治癒を目指すT細胞輸注療法』

講演要旨

近年、免疫チェックポイント阻害療法が多くの難治性がんにも有効な承認薬となり、がん免疫療法に注目が集まっている。免疫チェックポイント阻害療法に続くがん免疫療法として2017年には遺伝子改変T細胞の輸注療法が白血病やリンパ腫の治療薬として米国で承認された。これらのがん免疫療法は、腫瘍の進展を抑制するのみならず、場合によってはがん患者を治癒させ得る可能性さえ期待されている。

我々は、進行期の固形癌や造血器腫瘍の患者を対象に、NY-ESO-1、MAGE-A4、WT1等のがん抗原に対するTCR遺伝子を導入したリンパ球の輸注療法、いわゆるTCR-T療法の臨床試験、医師主導治験を多施設共同臨床試験として実施中である。最近滑膜肉腫の患者で顕著な腫瘍縮小効果を認めつつある。

また、独自開発したベクターによって非自己のT細胞を利用可能とする技術の開発を行っており、このベクターを利用して骨髄移植後再発の白血病に対して遺伝子改変T細胞を用いたドナーリンパ球輸注療法を行う医師主導治験を開始している。

また、近年有望ながん抗原として注目されるがんの遺伝子変異由来抗原、いわゆるネオアンチゲンを標的としたTCR-T細胞療法の開発にも取り組んでいる。

本セミナーではT細胞輸注療法を中心に最近のがん免疫療法の現状と今後の展望を概観すると共に、我々が現在開発を進める遺伝子改変T細胞療法についても紹介し、将来の展望について議論したい。

このセミナーは、博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。“授業とみなす講演会出席記録簿”を持参して、開催担当教授の印を受けて下さい。

Host: 免疫学分野 (ext.7192)